

IV. アフリカ

ボツワナ

主要データ

国名〔英名〕	ボツワナ共和国〔Republic of Botswana〕
面積(km ²)	581,730
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	2.0
人口密度(人/km ²)	3.4
GDP(百万US\$)	13,461
一人当りGDP(US\$)	7,554
一人当り銅使用量(kg/人)	NA
主要鉱産物：鉱石(千t)	銅 19.6、ニッケル 22.9
主要鉱産物：地金(千t)	NA
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー・水資源省(Ministry of Minerals, Energy and Water Affairs)
鉱業関連政府機関	地質調査所(Department of Geological Survey)
鉱業法	鉱業法(Mines and Minerals Act of 1999)
ロイヤルティ	有
外資法	有(Foreign Investment Code(2001))
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境影響評価法(Environmental Impact Assessment Act (2005))
鉱業公社	ボツワナ政府が Debswana(ダイヤモンド)、BCL Limited(ニッケル)の権益を保有
鉱業活動中の民間企業	MMC Norilsk Nickel (ロシア)、African Copper(イギリス)
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特に無し
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・Tati Nicel 鉱山で Activox Hydrometallurgical Process Plant(湿式製錬技術プラント)の導入計画が進行していたが、2008年6月に同計画の無期延期がMMC Norlisk Nickel 社より発表された。 ・2008年開山したMowana 銅鉱山では、2009年1月に世界的な銅価の下落と需要の低迷及び15百万US\$の運転資金の調達が困難になったことから、待機維持状態となっている。

1. 鉱業一般概況

ボツワナの鉱業の中心は、世界有数の生産量であるダイヤモンドの生産であり、銅、ニッケル等の生産もダイヤモンドに比べて規模は小さいものの、国民経済にとって重要な役割を果たしている。1966年の独立以来、内戦もなく、ア

フリカの中でもカントリーリスクの最も低い国であることから、各国からの投資を集め、ダイヤモンド、銅、ニッケル、石炭鉱業が牽引役となり、大きな経済成長を続けている。2008年4月にカーマ副大統領が、後継の大統領に就任し、今後も安定した鉱業政策により、引き続き、鉱

山開発、探鉱への投資促進政策が押し進められることになった。

一方、鉱業依存の体制を脱し、国内産業の多角化を図るため、製造業、金融業、観光業の振興政策も、政府により押し進められている。現在、ボツワナでは、最終的に2016年まで持続的な経済成長を目的とした第9次国家開発計画(2003～2009年)が進められている。この中には鉱業における高付加価値化、下流部門の強化なども含まれている。

そのような中、ダイヤモンド鉱業を核としたボツワナ経済は、引き続き好調であり、2008年のGDP(推定)は138億US\$、GDP成長率は3.2%であった。2008年の輸出額(推定)は51.2億US\$であった。また、2007年のGDPのうち35%

が鉱業部門によるもので、そのうちの77%がダイヤモンドの生産によるものであり、16.5千人が鉱業部門に雇用されている。

2008年の銅・ニッケル・マット生産量は61.6千t(うちニッケル含有量28.9千t、銅含有量23.1千t、コバルト含有量337t)となり、前年の生産量53.9千t(うちニッケル含有量22.8千t、銅含有量19.9千t、コバルト含有量242t)に対し、マット生産量、金属含有量ともに増加した。生産されたマットはノルウェー及びジンバブエで精錬処理が行われている。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・特になし。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. ボツワナ：金属鉱石生産量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	24.3	21.5	19.6	-8.8
ニッケル	26.8	24.7	22.9	-7.3

(出典：WMSY 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

該当データなし

(3) 主要非鉄金属消費量

該当データなし

(4) 主要非鉄金属輸出量

表 2. ボツワナ：精鉱中含量・地金輸出量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
ニッケルマット	24.1	31.0	27.5	-11.3	

(出典：WMSY 2009)

(5) 主要非鉄金属輸入量

該当データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 3. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	生産量 (千 t)	備考
Selebi-Phikwe 鉱山	Bamangwato Concessions Ltd : 100%	ニッケル、銅、コバルト	13	
Tati Nickel 鉱山	Norilsk Nickel : 85%、ボツワナ政府 : 15%	ニッケル	15	2007 年実績 プラチナ、パラジウムは(単位：千 oz)
		銅	11	
		パラジウム	34	
		プラチナ	9	
Mowana 鉱山	African Copper Plc : 100%	銅 (精鉱中含量)	1	2008 年実績

表 4. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業 (権益：%)	鉱種・形態	生産量 (千 t)	備考
Selebi-Phike 製錬所	Bamangwato Concessions Ltd : 100%	Ni/Cu マット	62	データ年：2008 年 ニッケル含有量 29 千 t、銅含有量 23 千 t、コバルト含有量 337t



図 1. ボツワナの主要鉱山、製錬所、精製所位置図

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

該当データなし

(2) 日本企業による投資状況等

JOGMEC は、2008 年 7 月に、同国ロボツエ市にリモートセンシングセンターを開設した。

リモートセンシングセンターにおいては、5 年計画で、初年度はリモートセンシングを活用したボツワナ共和国の鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修を実施し、次年度以降は、プロジェクトの対象を SADC 諸国へも拡大する計画である。

6. その他トピックス

- 2008 年 1 月に首都ハボロネに在ボツワナ日本国大使館が開設され、日本とボツワナ両国関係のより一層の発展が期待される。
- Tati Nicel 鉱山で Activox Hydro-metallurgical Process Plant (湿式製錬技術プラント)の導入計画が進行していたが、2008 年 6 月に同計画の無期延期が MMC Norlisk Nickel 社より発表された。
- 2008 年開山した Mowana 銅鉱山では、2009 年 1 月に世界的な銅価の下落と需要の低迷及び 15 百万 US\$の運転資金の調達が困難になったことから、操業停止中となっている。

(2009. 06. 17/ロンドン事務所 竹谷 正彦)